

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条第 1 項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 武義高等学校 学校運営協議会 (第 1 回)
- 2 開催日時 令和 7 年 6 月 2 0 日 (金) 1 3 : 2 0 ~ 1 5 : 4 0
- 3 開催場所 武義高等学校大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	有川 一	中部学院大学 教授
副 会 長	土本 恭正	武義高校同窓会会頭
委 員	成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
	杉本 真弓	本校 PTA 会長
	堀 昌子	本校 PTA 監事
学 校 側	古田 寿朗	校長
	笠井 智子	教頭
	大野 英悟	事務長
	井戸 裕二	教務部長
	吉川 敏幸	進路指導部長
	各務 憲之	生徒指導部長
	山本 通広	特活指導部長
	原 美潮	商業部長

5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 学校運営協議会委員任命、会長・副会長互選
- (2) 令和 7 年度 教育指導の重点、学校経営計画、各分掌より方針と重点について説明
- (3) 意見交換

意見 1 : ・学校でリーダーシップを経験することは、社会に出た時にとっても役に立つ。リーダーを支える、フォロワーシップを理解することにもつながる。学校でのさまざまな教育活動の中で、リーダーシップをとらなければならない状況を、上手く作り出して欲しい。

・生成 AI との関わりは避けられない。教育活動の場面でどのように関わっていくか考えてほしい。取舍選択の能力がないと、生成 AI を使いこなせないのではないか。この部分の力を付けるための施策を考えてほしい。考え方だとか、応用の仕方だとかを伝えていただきたい。

意見 2 : ・小学生などに高校生が教える機会を持つことはとても良い。大人が教えると上から目線になるが、年齢の近い高校生が教えるのは目線が同じで、親しみを感じ、話を良く聞いてくれる。このようなことは武義高生にもできると思う。武義高校で行われている、企業や地域の方による授業についても、できるだけ若い、30 代くらいの講師をお願いすると、より効果が期待できるだろう。

・中学校の部活動が完全に地域移行するに伴い、中学生のスポーツ活動は激減する。高校でのスポーツ活動にも大きく影響するので、体育協会の関係者としても武義高校での対応をお願いしたい。

意見 3 : ・コミュニケーション能力を高める授業や自分で課題を見つける授業は大切である。要望として、生徒の名前には「さん」を付けて呼んでいただきたい、また、自分の名前の漢字の書き順は正しくできるように指導をお願いしたい。

・ビジネス情報科で行われている「架け橋プロジェクト」などで、美濃市の社会福祉協議会との連携も行っていただきたい。

意見 4 : ・生徒一人一人がきらきら、生き活きと意見を出していた授業が印象的である。授業を楽しんでいる様子が伝わった。学校生活を楽しんでいる様子は家庭でも話してくれている。

意見 5 : ・先生方は一生懸命に授業を行い、生徒は真面目に授業を受けている。学習の意欲が増していると感じる。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

各委員の皆さまには授業参観で生徒たちの実態を良く観察いただき、ご指摘や率直な意見をいただいた。学校の在り方に対する示唆に富むご意見や、アドバイスを学校経営計画に活かして今年度の教育活動を行い、今後の経営計画にも反映させていく。